

第1, 2回地域保健委員会議事要旨

第1回 全国保健所長会地域保健対策委員会と合同

日時：平成12年5月15日(月)14:00～17:00

出席者：学会 多田羅浩三(理事長),
阿彦忠之(委員長), 岡田尚久,
嶋本 喬, 中村好一, 藤内修二,
松田 朗, 山崎紀美

所長会 竹之内直人(松山市保健所),
中村清純(目黒区目黒保健所),
澤 節子(豊島区池袋保健所),
河原啓二(姫路市保健所),
日高良雄(宮崎県延岡保健所)

第2回

日時：平成12年6月26日(月)13:30～17:00

出席者：多田羅浩三(理事長), 阿彦忠之(委員長), 岡田尚久, 佐榊 進, 嶋本 喬,
中村好一, 藤内修二, 山崎紀美

1. 健康日本21の推進にかかる保健所アンケート調査について

21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)では, 都道府県や市町村においても, 国が示した方向性や目標を勘案し, 各地域の健康課題や住民ニーズに応じた計画(地方計画)を策定して推進することが求められている。

地方計画の中でも, 2次医療圏あるいは市町村の計画策定を進めるには, 保健所の積極的な関与が必要である。とくに地域の健康情報の収集と分析, およびそれに基づく健康課題の抽出と目標設定などにおいては, 保健所が中心的な役割を果たすべきとされている。

そこで, 健康日本21の推進に関する保健所の取り組み状況を把握するとともに, 地方計画で留意すべき健康指標の選定についてのアイデアを募ることを目的に, 本年3月から4月にかけて, 全国保健所長会と共同でアンケート調査を実施した(全国410保健所から回答あり, 回答率67%)。調査結果の概要については, 全国保健所長会を通じて各保健所に速報として還元された。ただし, 地方計画で留意すべき健康指標については回答数が

膨大で, 地域単位では把握困難な指標も含まれていたため, 情報の入手可能性や指標の意義を再検討し, とくに有意義な指標のみを選定して還元したほうがよいという意見があった。また, 国全体の目標指標および保健所アンケートから選定した各指標については, その把握方法(標準的な質問票など)に関する資料も併せて提供すべきという意見が出された。地域住民の生活習慣の実状などを住民アンケートで把握する際に, 全国的に同じ質問票で調査が行われれば, 他地域との比較が可能となり, 地域ごとの目標設定や評価がしやすくなるからである。

以上の意見を踏まえ, 当委員会では, 健康日本21で国全体の目標として掲げられている指標を整理するとともに, 保健所アンケートの結果の中から, 地方計画の策定に向けて保健所がとくに留意すべき指標を選定した。また, 各指標に関する地域の実状を把握するために住民アンケートに必要な項目については, 既存の全国調査(国民栄養調査など)や先駆的地域の調査資料などを参考に「標準質問票」策定を検討した。

なお, 健康日本21では, 健康づくりを支援する「社会環境の整備」を基本方針の1つにしている。生活習慣などの行動変容に関する目標は, 個人を取り巻く諸条件(本人の知識や態度, あるいは実践・継続を支援する住民組織や社会環境など)を改善しなければ達成が困難だからである。そこで, 健康づくりを支援する社会環境面の条件を考慮した目標設定の工夫についても提案し, 保健所に還元することとした。

2. 「個人情報保護基本法」制定についての意見書

高度情報通信社会推進本部個人情報保護検討部会中間報告「我が国における個人情報保護システムの在り方について」および個人情報保護基本法制定についての意見書の原案をもとに検討, 討議した。

3. 喫煙対策に関する声明について

4月の理事会に提出した声明文(案)は, 各評議員に意見を求め, その結果を参考に検討, 討議のうえまとめ, 7月の理事会に出すこととした。